

奄美地区てんかん医療講演会

開催趣意書

てんかんは脳の病気で、全国に約 100 万人の患者さんがいます。古くから多くの人々を苦しめてきた病気ですが、近年は医学の進歩などにより、早期診断・早期治療で 70 パーセント以上の人が発作のない生活を送ることができます。

わたしたちてんかん協会は、てんかんの正しい知識の普及啓発や理解促進、情報誌等の資料作成・広報、てんかんのある人とその家族に対する相談および支援、てんかんの調査研究、てんかんに関する諸制度の推進等、幅広い活動を行うことにより、てんかんのある人やその家族の福祉の増進に寄与することを目的として活動しております。

そうした活動の中で、てんかん専門医による医療講演会は支援してくださる人々はもとより患者・家族に強く望まれている企画であります。

鹿児島県支部では過去に鹿児島市、薩摩川内市、霧島市、鹿屋市で開催してきました。鹿児島市での開催が中心になりがちなたんかん専門医の講演会を、地方に展開したい思いから申請した、九州労金NPO助成申請が承認され、通常支部会計では開催無理なこの計画に、花谷亮典鹿児島大学病院てんかんセンター長が、ご賛同くださり実現いたします。

従来、小児期の発症が多いとされてきましたが、近年は高齢者の発症も多くなっております。小中学校でのてんかんをもつ児童・生徒への配慮も重要な要件であります。

「てんかんについての正しい知識と理解を深めるために」とのてんかん専門医による講演を患者・家族はもとより医師、教職員、専門職、関心のある市民など多くの方々に聴講していただきたいと思っております。

公益社団法人日本てんかん協会（波の会）

鹿児島県支部 代表 前原東十